



12.1 教育福祉講演会

「時間の枠をこわす」

—認知症高齢者と子どもたち—

福岡市には全国に誇ることができるすばらしい高齢者福祉の場があります。それが宅老所「よりあい」であり、地域密着型特養「よりあいの森」です。「よりあい」の実践は、前代のリーダー下村恵美子さんから今のリーダー村瀬孝生さんに至るまで、日本の高齢者福祉の最も良心的なあり方を示してきました。

今のリーダー村瀬孝生さんは、ケアの現場から思索を重ね、独自の福祉哲学をもちます。著書も多数です。今回は、認知症高齢者と子どもについて、村瀬さんの深い考察を聞いてみます。

「このぼくらのいる（人間の多様な生を一元的に管理、コントロールしようとする）社会をぶちこわしてくれるのがお年寄りと子どもだと思えますよね。その社会をぶちこわさないようにすればするほど、（お年寄りと子どもの）両方の世界がしぼんでいく感じがします」（村瀬孝生）。

高齢者のみならず、親の介護が気になる方、子育て中で子どもに振り回されている方、若い人たち、世代を問わず聞いていただきたい講演です。



村瀬孝生さん



特養「よりあいの森」

日時 12月1日（日）午後2～4時

場所 メイトム宗像1F 101会議室

811-3437 宗像市久原180 Tel.0940-36-0202



演題 「時間の枠をこわす～認知症高齢者と子どもたち」

講師 村瀬孝生

宅老所第二よりあい、特養よりあいの森代表

参加費 無料

（終了後、希望者は講師との交流会があります。交流会参加費はコーヒーとお菓子代実費の300円です。申し込み時にお知らせ下さい）。

定員 25人（要事前申込み）

主催「子ども寺子屋カフェ」を運営する会

問い合わせ、申込先 Tel.070-1374-8968/

mann@asahi.email.ne.jp（清水）

後援 宗像市、宗像市教育委員会

子ども寺子屋カフェは、2017年から始まったデンマーク式ワークショップを中心とした子どもの活動場所であり、子ども食堂の一種です。

